資料(2)

堺市のがん対策の取り組みについて

堺市のがん対策の経過

- ■堺市がん対策推進条例の制定(平成24年9月27日条例第48号)
- ■堺市がん対策推進委員会の設置(平成25年4月1日)
- ■堺市のがん対策の推進について(諮問)(平成25年10月3日)
- ■堺市のがん対策の推進について(答申)(平成26年12月9日)
- ■胃がんリスク検査の導入(平成28年10月1日)
- ■前立腺がん検査の導入(平成29年6月1日)
- ■がん検診総合相談センター(コールセンター)の開設(平成29年6月1日)
- ■がん検診総合相談ポータルサイトの開設(平成29年6月28日)
- ■がん検診受診促進強化期間を設定し、5がん(胃・肺・大腸・子宮・乳がん)検診自己負担金 無償化を実施(平成30年度・令和元年度)
- ■がん検診受診促進強化期間を延長し、5がん及び胃がんリスク検査、前立腺がん検査 自己負担金無償化を実施(令和2年度・3年度)

がん検診受診率向上強化への取り組み

堺市におけるがん検診受診率及び精密検査受診率の向上と、医療費の削減及び死亡率の減少を達成するため、より効率的かつ効果的に、それぞれの組織の業務連携によるがん検診受診率向上に関連する取り組みを集中する事業を展開する。

事業イメージ

これまでの課題: それぞれの組織でがんに関する取り組みを行ってきたが、多くの事業で連携が取れずそれぞれに取り 組まれており、受診につながる効果的な啓発等が行えていなかった。

①堺市、保健センター

これまでの主な取り組み

- ・イベントや地域へ出向いてのがん予防啓発の実施
- ・乳幼児健診等での禁煙指導、受動喫煙防止啓発
- ・各種がん検診の実施(集団・個別)
- ・健康づくり自主活動グループ育成
- ・地域がんサロンの開催
- ・小、中学校でのがん教育

③患者会など

これまでの主な取り組み

- ・がん患者会の会報誌の作成、 講演会、交流会の開催
- ・店舗などによるがん関連事業 啓発の実施、従業員への検診 受診勧奨
- ・受動喫煙防止のための取り組み (店舗内、事務所内)

②がん診療拠点病院、地域医療機関

これまでの主な取り組み

- ・がん検診の実施、受診啓発、がん登録事業への協力
- ・緩和ケアの啓発、在宅緩和ケアマップの作成
- ・地域連携パスの導入実績の向上

強化事業

- ・精密検査者の追跡と管理【①、②】
 - →対象者名簿を作成、電話及び文書による調査
- ・小、中学校でのがん教育の実施【①②③④】
 - →医師、看護師、がん経験者などによる授業と 保護者への啓発
- ・医療機関、地域などとの連携

[1234]

- →保健センターを中心とした地域が一体となった 啓発を実施
- ・がん検診総合相談センターによる受診勧奨【①】

- ・標準的ながん医療を受療できる 体制の充実
- ・情報提供・相談支援機能の強化 し、こころのケア、就労支援を充実

④学校、地域など

これまでの主な取り組み

- 小6、中3でのがん教育の実施
- ・地域活動での健康づくりに関する 活動実施

がん検診受診率の推移について

堺市の全年齢受診率

受診者数算出•••人口一(就業者数一農林水産業就業者数)

	H29
胃がん	5.4%
肺がん	6.8%
大腸がん	13.0%
子宮がん	23.6%
乳がん	18.6%

H30	対H29増減	
6.3%	0.9P↑	
9.2%	2.4P↑	
14.1%	1.1P↑	
24.2%	0.6P个	
18.9%	0.3P个	

R1	対H29増減		
7.7%	2.3P↑		
10.6%	3.8P↑		
14.6%	1.6P个		
27.2%	3.6P↑		
21.3%	2.7P个		

R2	対H29増減
7.1%	1.7P↑
9.4%	2.6P↑
12.7%	0.3P↓
25.5%	1.9P↑
19.4%	0.8P↑

■おもな取り組み

(H29)

- ・がん検診総合相談セン ターの設置
- ・がん検診総合相談ポータ ルの開設
- ・前立腺がん検査の導入

[H30]

- がん検診自己負担金 無償化の実施
- ・がん検診総合相談セン ター架電勧奨の強化
- 医療機関へのポスター 掲示

[R1]

- がん検診自己負担金 無償化の実施
- 託児付き子宮がん検診の実施
- バス車内アナウンスの 実施

[R2]

- ・がん検診自己負担金 無償化の延長、胃がんリ スク、前立腺がん検査自 己負担金無償化の実施
- ・SMSによる受診勧奨実施
- ・ニュースアプリ広告実施

各種啓発の取組について

令和3年度の取り組み

啓発の内容	啓発の手段	啓発時期	啓発の対象	
がん検診制度・無償化の 周知・啓発	市広報誌の啓発	4月号、7月号、10月号(特集)、 3月号(予定)	全世帯	
	医療機関等でのポスターの掲出	平成30年4月から	医療機関、歯科、薬局を 利用する市民	
	ニュースアプリ広告	令和3年8月18日~8月31日 令和3年10月18日~10月31日	ニュースアプリ利用者	
個別受診勧奨の実施	がん検診総合相談センターでの 架電による検診の説明	通年	過去にがん検診を受診した 市民	
	クーポン事業の実施	7月	20歳の女性(子宮) 40歳の女性(乳)	
	誕生月勧奨の実施	7月から毎月送付	30歳の女性市民(子宮) 40・50・60・64歳の市民 (5がん)	
がんに関する知識普及、 予防啓発	講座等を地域へ出向き実施	従来からの取り組みを強化し 実施中	市民(自治会、医療機関、企業)	
	乳がん自己触診法の情報提供 (乳幼児健診などの機会に実施)	通年	20歳から39歳を中心と した女性市民	

がん検診の精密検査受診率について

■精密検査受診率の許容値と堺市の精密検査受診率

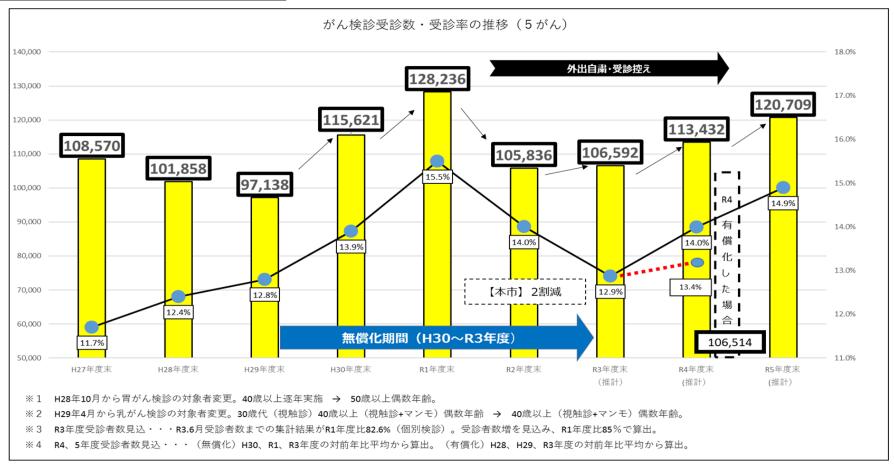
	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
許容値	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	80%以上
H29	<u>64.4</u>	<u>63.4</u>	<u>48.1</u>	<u>57.2</u>	89.5
H30	85.9	70.2	<u>40.5</u>	<u>67.7</u>	90.8
R1	85.7	72.5	<u>51.2</u>	73.5	90.0

令和3年度 精密検査受診率向上の取り組み

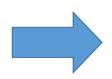
- ①受診者への周知
 - ・検診結果が「要精密検査の場合は必ず精密検査を受けること」を事前周知するため、受診票に案内 用紙の追加を実施
- ②医療機関への協力依頼
 - 要精密検査者への精密検査受診勧奨、及び精密検査結果報告書の提出依頼
- ③追跡調査の実施
 - 精密検査結果未把握者について、医療機関、及び受診者へ追跡調査の実施

がん検診無償化の効果検証

① 無償化の実施により受診率は向上



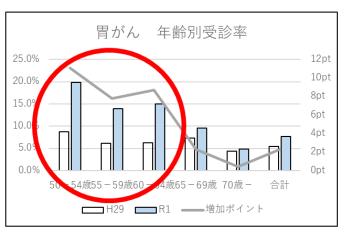
- ■令和2年度受診者数が2割減(全国平均)を維持した理由
 - ①無償化の実施によるがん検診受診の動機付けを実施
 - ②がん検診受診履歴のある方へのSMSによる受診勧奨の実施
 - ③web広告の実施によるがん検診の受診啓発の実施

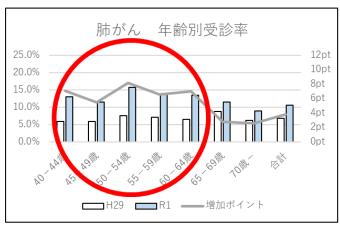


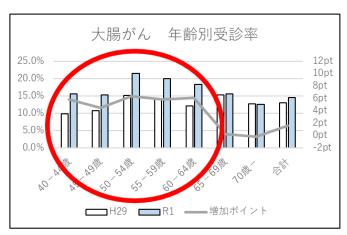
全国平均の2割減を維持

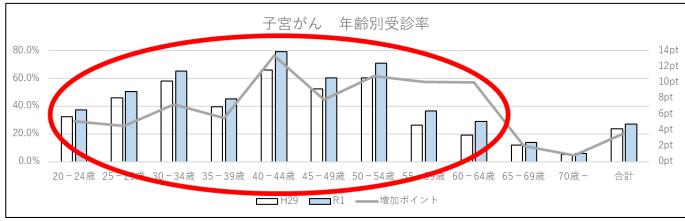
がん検診無償化の効果検証

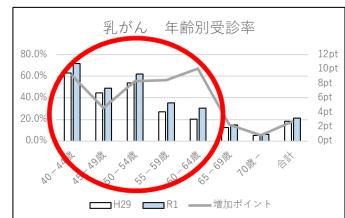
② 全年齢で受診率は増加。特にメインターゲットとする69歳以下の受診率が増加











【無償化の効果】

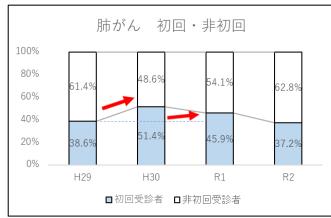
- ①5がんとも40-64歳(子宮は20-64歳)の年齢層で受診率が特に増加
- ②メインターゲットとする69歳以下受診者のうち、特に64歳以下の増加に効果的

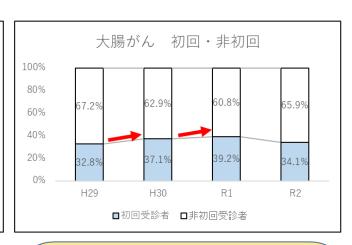
がん検診無償化の効果検証

③ 無償化をきっかけに受診した初回受診者が増加

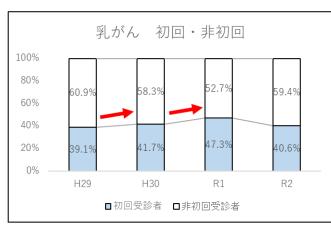
初回の定義:過去3年間に受診歴のない者











【無償化の効果】

- ・胃、肺、大腸、子宮、乳がん検診の 初回受診者割合が増加
- ★ 無償化を機会に、
 はじめてがん検診を受診する
 受診者が増加

コロナ禍を含めた今後の対策について

今後の具体的な取組

- 1 コロナ禍(無償化期間)にがん検診を受診できなかった方の対策として、令和4年度については<u>無償化を延長。</u> この間に、検診受診とアスマイルの登録者数増加の啓発を図り、今後の受診勧奨の土台整備を実施。
- 2 メインターゲット層へ、適切なメッセージの個別勧奨を強化(スマホ・アプリの活用)
- 3 がん検診総合相談ポータルサイトからの情報発信のさらなる強化

受診控えの方へ、受診しやすい機会提供

- ■受診控えで、全国2割減のなか、無償化効果を継続することで、**受診者数の向上 を図る**。
- ■受診行動を妨げる費用の問題を除去。
- インセンティブとして、アスマイル事業の 活用。

メインターゲットへの 適切なメッセージ強化

- ■過去の受診履歴を活用し、リピーター獲得に向け、**SMS勧奨の対象者**を5,000人から、**10,000人に拡大。**
- 勧奨資材をハガキサイズから<u>A4サイズに拡</u> 大し、インパクトのあるメッセージへ強化。

ポータルサイトから 情報発信・啓発の強化

- 実施医療機関の位置情報の マップ化、 医療機関情報 (駐車場の有無・対応可能言語等)を追加掲載し、ポータルサイトの強化。
- ■コールセンターのノウハウを活かし、<u>適切な</u> 相談対応(チャットボット等)を実施。
- がん患者自身からのメッセージによる説得 性のある啓発。

「がん検診受診の向上」「健康寿命の延伸*」

*堺市基本計画2025 KGI [2030年度に男性74年女性77年]

今後の予定 (令和3年度以降)

○コロナ禍にがん検診を受診できなかった方の対策として、 令和4年度の無償化継続について検討を実施

- ○無償化期間の終了後も定期的受診に繋げていただけるよう 検診の重要性・自己負担額について啓発を強化
- ○5つのがん検診の精密検査受診率について、国の許容値 を達成する対策の実施
- ○令和5年度以降、自己負担金無償化につづく受診率向上施策の検討を実施(インセンティブの活用)